

「第6回社会福祉研究会」に参加しませんか？

前回のご参加、誠にありがとうございました。新たな参加者、どんどんお待ちしております。

昨年5月より様々な職場相談援助の現場でご活躍されています方を対象に社会福祉研究会を立ち上げこれまで5回を開催し、参加者は社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、ケアマネジャー、養護学校教員、一般で福祉実践に興味がある方など多種多様で、会員登録者が現在85名、研究会を通して新たなネットワークが構築されつつあります。前回(1月23日)は在宅高齢者を中心とした多問題を抱えるケースに対して様々な立場から支援を考えることができました。

今後も日頃の支援の中で解決に悩むこと、誰かに相談したいこと、同じ相談援助職との交流の場が少なく感じていることなどについて模擬演習や事例研究を通して意見交換や現況など、交流を目的に2ヶ月に1回程開催していく予定です。興味ある方は参加してみませんか？

日程が変更になっています、ご注意ください！

日 時： 平成22年 3月 27日(土) 13:30 ~ 17:30
(18:30から意見交換会を予定しています。)
会 場： 旭川大学情報ビジネス専門学校 8階
(旭川市 8 条通 7 丁目 買物公園突きあたり) ※車はご遠慮ください
参 加 費： 無 料
内 容：「私はこれでソーシャルワーカーを辞めました。」

～ジレンマを感じる事例をとおして～ 事例提供者 旭川大学教授 澤 伊三男

テーマ：あなたは「死んじまえ!!!」と言われたことが有りますか？

子どものお母さんへの想いと、冷徹な業務遂行の間で揺れる事例をとおして

検討趣旨：皆さん、ジレンマ(葛藤)場面を上手く解決できますか？

今回は、幼い子どもを抱え支え合っている母子家庭VS布団を引き剥がしてでも行うという「就労指導」との狭間で苦しむ福祉専門職。

この事例を通して、皆さんで「インフォームド・コンセント」や「ジレンマ」の問題について考えてみたいと思います。

お申し込み先：社会福祉研究会 代表 澤 伊三男 (旭川大学保健福祉学部コミュニティ福祉学科教授)

〒079-8501 旭川市永山3条23丁目1番9号 旭川大学

※下記の様式に記入し、e-mail、郵送・FAX のいずれかの方法でお送りください。

旭川大学 澤 行 (FAX 0166-48-8718 E-mail sawaisao@live.asahikawa-u.ac.jp)

Tel:(携帯)090-1380-5559

社会福祉研究会 出席連絡票 (FAX はこのまま送信ください)

お名前(フリガナ)	性別	業種(特養等)
職場名・連絡先電話番号	E-mail: (出来るだけ記載をお願いします)	
希望やご意見ありましたらどうぞ		

※今後名簿の作成を検討しておりますので個人情報掲載についての是非をお聞かせください。

名簿への掲載を 希望する ・ 希望しない (○をつけてください)

※意見交換会に 参加する ・ 参加しない (会場は当日お知らせします。参加費2500円から3000円程度)